

令和3年度市民団体活動支援補助金 中間ヒアリング結果

◎…よくできている ○…おおむねできている △…一部できていないところがある

団体名	介護・認知症の家族と歩む会・白井	しろいワクワクひろば	白井健康元気村
補助金の種類	活動発展型（採択額 10 万円）	活動発展型（採択額 8 万 4 千円）	活動促進型（採択額 25 万円）
事業概要	<p>【事業名】 認知症本人と介護家族を支える“まちづくり”</p> <p>【事業目的】 認知症本人と介護家族が認知症発症以前に近い穏やかな日常生活を取り戻す。病気に対する不安を解消する。</p> <p>【内容】 認知症本人と介護家族の不安・苦悩軽減を目的とした講座・ワークショップ等を行う。</p>	<p>【事業名】 多世代交流型 子ども農園&子ども食堂事業</p> <p>【事業目的】 多世代相互の交流を通じて、子育てを応援するとともに、高齢者の閉じこもり予防を図る。</p> <p>【内容】 子ども食堂、野菜の栽培・収穫、地域の子どもから高齢者までの交流や親睦 など</p>	<p>【事業名】 高齢者の健康寿命・元気寿命延伸の為に教室開設及び広報の実施</p> <p>【事業目的】 教室の開催により、市民の健康管理能力や生活設計能力を高める。また、広報により啓発する</p> <p>【内容】 高齢者を対象とした「健康教室」「終活教室」実施、実施内容の公開・広報 など</p>
補助事業の進捗事業について、計画通りに事業は進んでいるか	○	○	○
	<ul style="list-style-type: none"> 講座・ワークショップはほぼ計画通り実施している。 市民個人へのハガキの案内とチラシの配布効果を感じているが、コロナ禍により参加者は極端に少ない。 交流会・相談会が進んでいないが、交流会に代わり電話相談や訪問相談が増えた。 下半期は「徘徊」をテーマに講座を開催予定。広報掲載、ハガキ、チラシと複数手段で情報発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども農園事業については、計画通り種まき、田植え、収穫等を実施している。農業ボランティアの協力が大きい。 子ども食堂事業については、収穫物を利用し会食する計画だが、コロナ禍により、手作り弁当や食材、お菓子等の配布に変更している。 下半期は、感染状況等を見ながら、可能な限り計画通りに実施したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康教室は7月、9月に実施した。 8月の健康教室は下半期に延期した。 10月、12月、2月、3月に健康教室、11月、1月に終活教室を予定している。
補助金の活用状況について計画通りに活用しているか	◎	△（コロナ禍による）	◎
	<ul style="list-style-type: none"> 講座・ワークショップは計画通り進んでおり、ハガキ、切手の通信費やチラシ等の消耗品費、印刷費に活用。 下半期は告知案内にチラシを同封するため、通信費が増える見込み。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども農園事業は消耗品費、検査料、保険料等計画通り執行できている。 子ども食堂事業が計画通り実施できていないため、食材費が活用できていない。 下半期は、感染予防対策をしできる限り計画通り実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り執行できている。 下半期も予定通り活用する。

<p>市民活動推進委員からの 審査コメント 【要旨抜粋】</p>	<p>【審査コメント】</p> <p>① 認知症に対して、当事者目線で取り組み、着実に活動を継続されていることを評価します。</p> <p>② 会員の区分けがわかりづらいため、外部にわかる組織体制づくりに努めてください。</p> <p>③ コロナ対策に注意しつつ、活動の成果や効果を広く周知ながら事業を進めてください。</p>	<p>【審査コメント】</p> <p>① 地域に根ざした多世代多文化型の素晴らしい活動であると評価します。</p> <p>② 参加者の内訳などのデータを取り、分析を進めることで、周知方法や情報発信の対象の絞り込みなどに活かしてください。</p> <p>③ SNS等での発信、自治会への声かけ、拠点の拡大等により、参加者の広がりを期待します。</p>	<p>【審査コメント】</p> <p>① 会員が多く活動は地域に安定して根付いており、また公園清掃で自主財源を確保していることも評価できます。</p> <p>② DVDに関する費用については、収録内容が動画ではなく資料データのみとのことで、DVDである必要性が認められず、また製作単価が高額なことから、条件付き採択とします。</p> <p>③ 会員（村民）だけでなく、広くしろい市民が受益できるような取り組みとなるよう期待します。</p> <p>【条件】DVDについて①または②への変更を条件とする。変更できない場合は、DVDに関する費用を補助対象経費から除く。</p> <p>①DVD収録内容を、資料データではなく講演会を撮影した動画に変更する。</p> <p>②資料データの配布について、DVDではなく紙媒体での配布に変更する。（カラー印刷費等への変更）</p>
<p>対応について</p>	<p>①当事者目線の活動「分かってください、私は認知症です。」を進めていきます。</p> <p>②講座等参加者の中から（仮称）地域パートナーの発掘、増員を目指します。</p>	<p>① 参加者内訳：両親と子、母と子、親子4代、姉弟、中学生友人同士など、多世代の参加あり。</p> <p>② 周知方法：公民館、児童館へチラシ配布、小中学校へチラシ掲示、自治会回覧、まいぷれ記事掲載、らーばんねっと放映等。</p> <p>③ 高校生ボランティア、20代から40代の社会人ボランティアの定期的参加あり。</p>	<p>③ 「健康教室」及び「就活教室」の実施内用はDVDではなく、冊子に変更して配布している。</p>
<p>団体活動の活性化と自立の課題について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 活動継続と発展のため、（仮称）地域パートナー発掘 活動費確保のため、フリーマーケットなど展開と同時に講座等参加者の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方（畑の貸主、NPO、農業ボランティア、地区社協）の事業への理解、協力により活動は活性化している。 来年度市民団体活動支援補助金【活動発展型】が最終となるため、民間助成金等の活用を検討していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動自立の課題を解決するため、児童公園等の清掃を行い、資金を得ている（年間33万円）
<p>今後の展望について</p>	<ul style="list-style-type: none"> （仮称）地域パートナーを確保し、市民の交流の場（仮称）えがおの広場をスタートさせる。 市民同士が喜び、不安、悩みなど気軽に話し合える「地域の居間づくり」を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> 次年度も同事業を継続して、地域に根差した活動の定着を図り、参加者も増やしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 次年度も「健康教室」、「終活教室」を計画。 児童公園等の清掃を引き続き実施する。